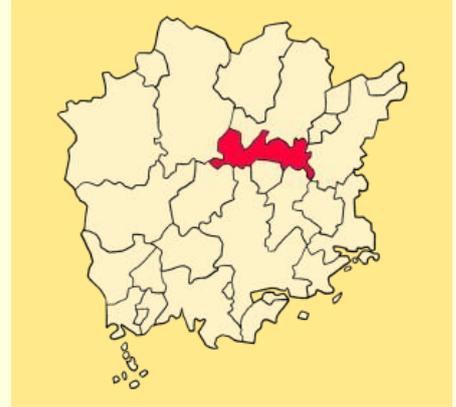




美咲町 -みさきちょう-



岡山県のほぼ中央部に位置する美咲町は、町の面積の約6割を山林が占め、東に吉井川、西に旭川の県下3大河川の2河川が流れ、山間部には「つなぐ棚田遺産」、「日本の棚田百選」にも選ばれた棚田など田園風景がたっぷりの自然豊かなまちです。



ひと 輝くまち みさき

町長からのメッセージ



人口約1万3千人の小さな田舎まち美咲町は、人口が減少することを見据え、現在、50年に一度の大規模プロジェクトを進めています。(2校の義務教育学校開校・2カ所の多世代交流拠点施設整備)

こどもが笑顔でいることが、高齢者や障がいのある方々を含め、住民全員が幸せに暮らしていくことにつながるという思いを込め、【こどもの笑顔は みんなの幸せ】をキャッチフレーズにまちづくりを進めています。

「幸せ」と「こどもの笑顔」をキーワードに、未来に向けて変革をしている町『ひと 輝くまち みさき』へのご支援をよろしくお願いいたします。

MISAKI TOWN

将来を見据えたまちづくりの実践！MISAKI TOWNのご紹介

棚田を中心に自然豊かな美咲町ですが、人口減少と少子高齢化の進展に伴い、将来に負担を生じさせないよう新たなまちづくりを進めています。人口は、2000年から40年で約半減する予測であり、このことを踏まえ、まちづくりに取り組んでいます。



倭文西まちづくり協議会

【小規模多機能自治組織認定第1号】
「自分たちでできることは自分たちで」
「にぎやかな過疎」を合言葉に、楽しみながら地域運営を行っている。



旭学園【令和5年4月開校】

旭小学校・旭中学校の2校を統合し、岡山県内の公立学校としては初となる小中一貫の「義務教育学校」を整備



柵原学園【令和6年4月開校】

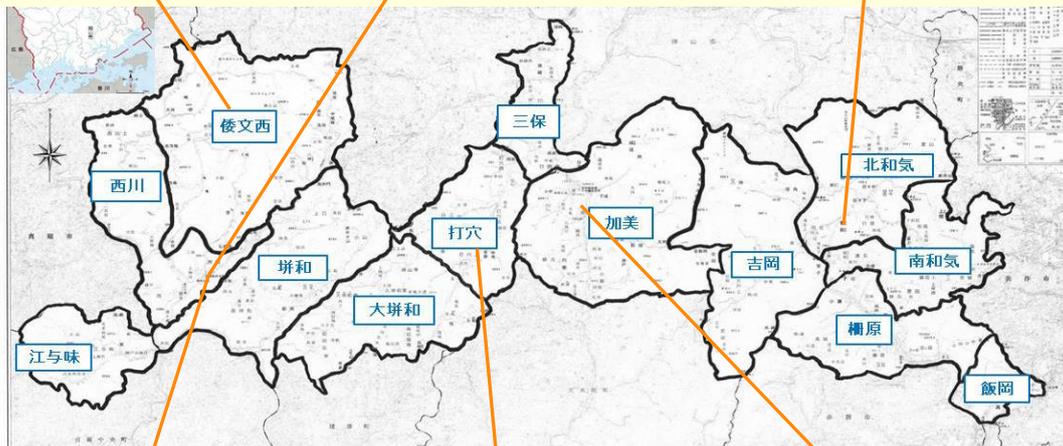
柵原西・東小学校・柵原中学校の3校を統合し、岡山県内の公立学校としては2校目となる小中一貫の「義務教育学校」を整備



「倭文西」



Facebook



やってみん会
“打穴”



YouTube

「元気なうたの」



旭地域多世代交流拠点

【令和6年12月完成予定】

旧旭小学校を活用し、役場庁舎、図書館、こどもの居場所、診療所、岸田吟行記念館などを集約した複合施設



打穴協働のまちづくり協議会

「打穴(うたの)やってみん会」を定例的に開催。地域の困りごとや課題について、みんなで話し合いながら取り組んでいる。



中央地域多世代交流拠点みさきキラリ

【令和7年3月完成予定】

役場庁舎、図書館、公民館、保健センター、社会福祉協議会、物産センターなどを集約した複合施設

人口減少・少子高齢化を見据えたまちづくり

挑戦①：将来の負担を残さないよう「賢く収縮する＝スマート・シュリンク」まちづくりの推進

- 例) ・多世代交流拠点施設＝複数の施設を統合し、充実させる。
- ・「旭学園」「柵原学園」＝必要なものは残し、充実させる。(小・中一貫の義務教育学校として新たに整備)

挑戦②：人口は減っても人交を増やし、地域の暮らしを支える仕組みの構築～小規模多機能自治の推進～

- 例) ・これから先も、地域みんなが活躍し、安全、安心に、日々の暮らしを守っていくための仕組み
- ・13のまちづくり協議会で、いろいろな取り組みが実施されています。

美咲町元気なまちづくり事業(まち・ひと・しごと創生計画)

地方創生に関連する事業への活用のため、企業版ふるさと納税による寄付を募集しています！

美咲町 空家活用定住促進事業

美咲町には約1500件の空き家があります。これらの空き家を有効活用し、移住・定住を促すため、空家バンクを通じて購入した物件について、所有者・移住者に対し「片付け」「購入」「改修」「引っ越し」費用を町が補助しています。

問題と可能性をマッチングさせることにより
地域課題の解決につなげます。



小規模多機能自治の推進

少子高齢化・人口減少により、これまでの地域のあり方が大きく変わろうとしています。町では複数の自治会で作る13のまちづくり協議会を立ち上げ、世代を超えた地域住民が地域単位で地域の生活課題の解決に向けて取り組んでいます。

みんなで ささえあって きょうりよくなる まちづくり。



黄福タクシー事業

中山間地域では移動手段の確保が大きな課題となっています。「黄福タクシー」はお一人での移動が困難な方を対象に、低料金でタクシーを利用できるサービスです。

地域内での移動は最大330円、町内間での移動は最大1000円
町外への移動は1万円までは半額負担で利用できます。

黄福タクシー利用者証

みさ キラリ

登録番号 8888



ミサキアエル・プロジェクト

ミサキアエル・プロジェクトは、地域内外の人々が集まり、地域資源の活用や課題解決を目指す活動を支援するプロジェクトです。地域おこし協力隊とともに新しいビジネスや観光促進を目指し、町の活性化を図っています。

地域課題の解決と、起業の促進を推進します。



ミサキカケル

DXの推進

美咲町では、令和5年4月に美咲町DX本部を立ち上げ、「子育て」「買い物・移動」「健康」「行政サービス」を重点分野に定め、美咲町DX推進計画を策定しています。美咲町公式LINEの本格導入や買い物サポート、健康ポイントアプリの導入等の実現を目指していきます。

人口の減少のなか、デジタル技術を活用し
住民の利便性の向上を図ります。



美咲町LINE
公式アカウント

重点 施策

美咲町子育て支援プラン

子ども・子育て支援

総事業費

約3億円

数値目標

—

現状・課題

全国的に少子化が進行する中、美咲町の合計特殊出生率は、令和3年は2.23で国や県の平均を上回っていますが、人口を維持するために必要となる2.07以上を継続していく必要があります。低下の要因として、仕事と育児の両立の難しさや経済的負担が考えられ、今後子育て支援の充実が重要となります。



事業の目的・内容

「子どもの笑顔は みんなの幸せ」を合言葉に、育児環境の整備のほか、子育て家庭への経済的な費用負担軽減のため以下の施策を実施しています。

- 出産祝金 … 第1子 3万円
第2子 5万円
第3子以降 10万円
- 育児支援手当 … 1人当たり月額1万円
- 保育料減免 … 第3子以降無料など
- 子ども医療費給付 … 18歳まで助成
- 水道基本料金助成 … 第3子以降無料など



お問合せ先

こども笑顔課 0868-66-1618

重点 施策

美咲町多世代交流拠点整備事業

地域活性化

総事業費

約25億円

数値目標

—

現状・課題

本庁舎及び旭総合支所庁舎、旭町民センターは、建設後40年以上が経過し建物内外の老朽化が進み、維持管理費が高くなっています。

また、社会ニーズの変化・多様化に対応する中長期的な視点から、用途の転用・多機能化・集約化・複合化・長寿命化等を計画的に行うことにより、財政負担を軽減する必要があります。



事業の目的・内容

多世代交流拠点（愛称：みさキラリ）、旭地域多世代交流拠点の整備をおこなっており、各施設（建物）内で提供するサービスの多機能化により、次の3点の実現を目指しています。

- ・行政サービスの利便性向上
- ・さらなる地域交流や世代間交流の促進
- ・にぎわいの創出や地域の活性化



お問合せ先

みさき共創室 0868-66-1660